



クリニック向け RPA導入ガイド

RPA GUIDE BOOK



！ クリニックのいま

医療業界では、恒常的な人手不足の中、いよいよ2024年から医師の超過勤務時間上限規制が適用されます。

そのため、**医師の働き方改革を含む業務時間適正化**は待ったなしの課題となっています。

医療従事者の方々は、当直・夜勤等の勤務形態に加え、安全かつ質の高い医療の提供や、専門性向上のために、日々、奉仕の精神で、**不規則で過重な労働時間を費やし**、患者様へ献身的な医療サービスをご提供されています。



1

圧倒的な労働力不足

医療業界では、人材不足が深刻な状態であり、
2030年には187万人分の労働力が不足すると予想されている
(2018年10月23日 労働市場の未来推計 2030より)

2

医師の働き方改革実現／過重労働回避、超過勤務削減

2019年より労働基準法が改正され、超過勤務時間に
上限規制が適用される(医師は2024年4月から適用開始)

3

医療安全の確保／許されない人為的な医療ミス

相次ぐ医療ミス／人為的なチェックに頼るのはもはや限界

NEWS

- ・検査結果見落としによる患者1年間放置
- ・医師間での診断結果共有不足による医療ミス など



RPAとは

RPA (Robotic Process Automation) とは、
私たちが日々行っているパソコン上での一連の作業を効率化してくれる”ソフトウェアのロボット”です。



単純作業における
人的ミス



慢性的な人手不足

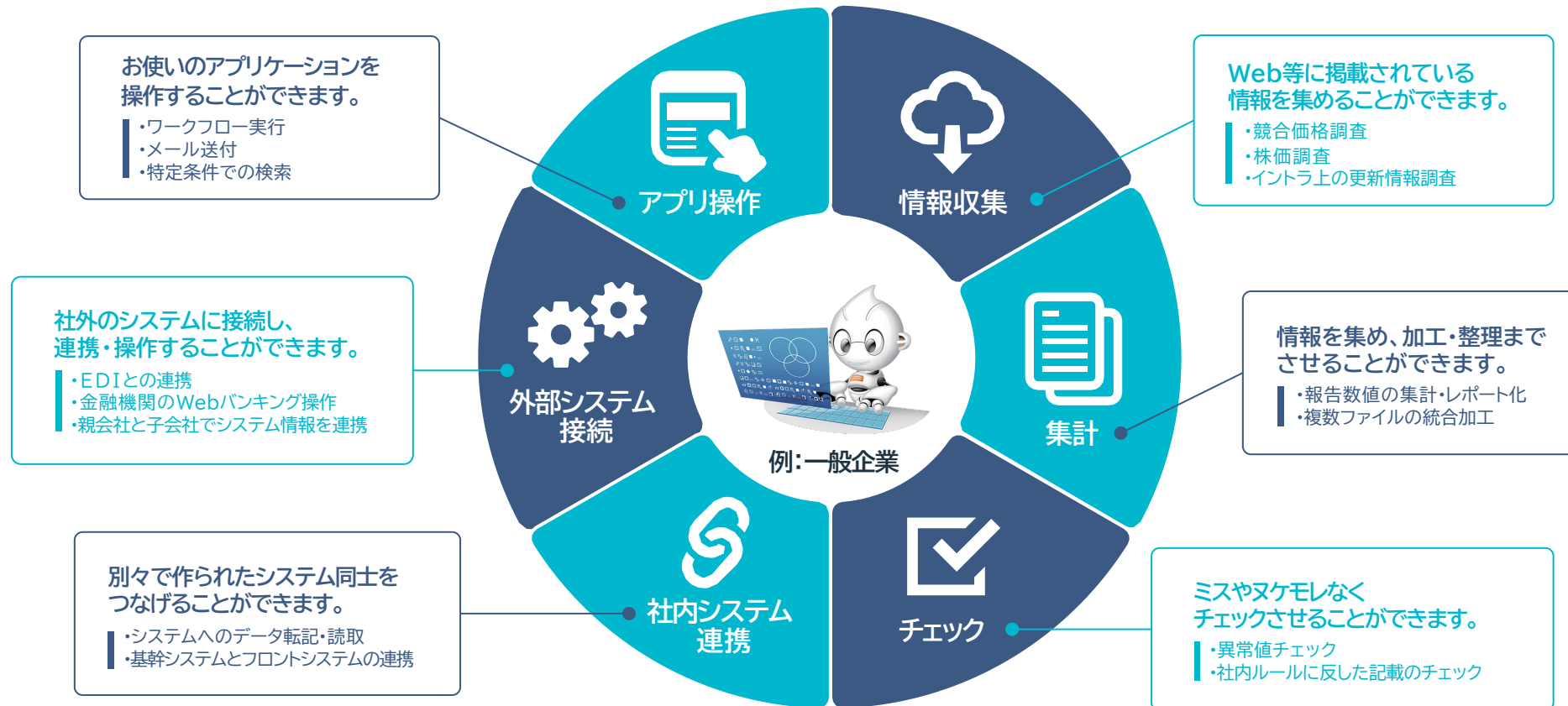


属人的に
なっている業務

RPAによってルーチンワークを自動化することで、多くの課題を解決へと導きます。



RPAができること

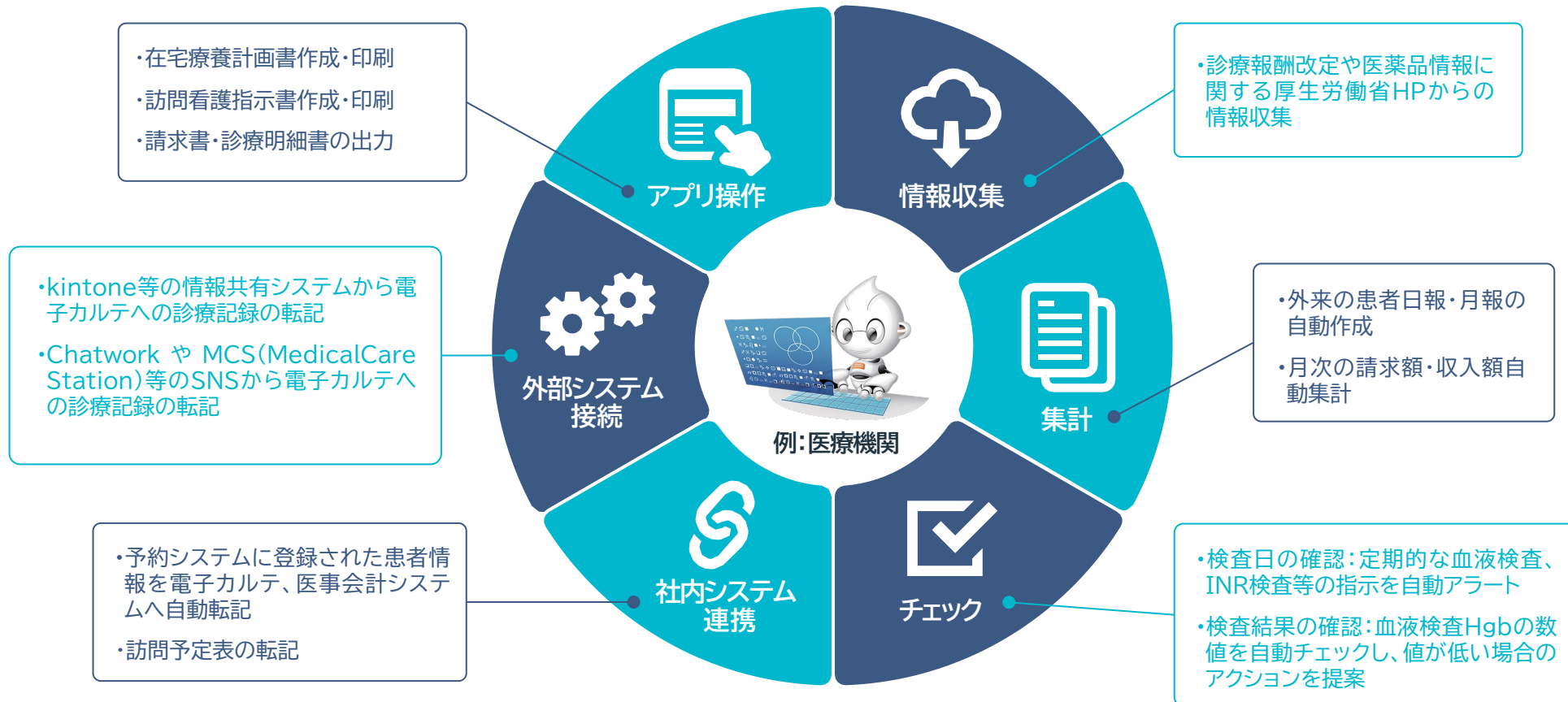


医療業界においても、多くの業務自動化を実現可能です。



クリニックでRPAができること

診療所・クリニックでRPAをつかうと、たとえばこんなことができます。





BizRobo!との連携システム実績(一部抜粋)

【電子カルテ】

エムスリーデジタル株式会社

エムスリーデジタル(M3 DigiKar)

中央ビジコム株式会社

PHC(Medicom-HRV)

株式会社ビー・エム・エル

ビー・エム・エル(Qualis/Medical Station Clinic)

セコム医療システム株式会社

セコムOWEL

【医事会計システム】

日本医師会ORCA管理機構株式会社

ORCA(オルカ)



想定される3つのデジタルレイバー効果

RPAを活用することによる効果として3つの観点があります。

「業務効率化」



診療所・クリニックでは平均
2400時間/年 業務時間を削減

「医療の質向上」



検査実施漏れや検査結果確認
漏れ防止等で医療の質を改善

「収益向上」



算定漏れや請求漏れ防止等、
医療収益の向上に貢献



想定される3つのデジタルレイバー効果 ①業務効率化

クリニックにおけるRPA対象業務は平均25-30程度、
1業務あたりの平均削減工数は80時間/年

➔ RPAの活用により、トータル2,000-2,400時間/年程度の業務削減が可能

オリーブ在宅クリニック 様

年間600万円人件費削減 を実現

- kintoneから電子カルテに患者情報の転記
- 電子カルテからkintoneに訪問予定患者の転記

など

磐田メイツ睡眠クリニック 様

768時間/年の業務削減 を実現

- 予約患者のCPAP使用状況ダウンロード
- CPAP遠隔モニタリング所見を電子カルテ転記

など



想定される3つのデジタルレイバー効果 ②医療の質向上

- 検査指示アラートで診療の標準化に貢献
- 検査結果を分析し、医師へのネクスト・アクション提案も可能！

定期検査指示アラートロボ

- ✓ 定期的な血液検査指示アラート
 - 180日に1回
- ✓ 糖尿病患者への検査指示アラート
 - 前回A1c採血より90日
- ✓ ワーファリン投与患者指示アラート
 - INR検査は前回より60日
- ✓ 利尿薬使用患者への指示アラート
 - 前回採血より90日
- ✓ マグネシウム製剤使用患者指示アラート
 - 前回Mg採血より90日
- ✓ 甲状腺機能低下症患者指示アラート
 - 前回TSH採血より90日

ネクスト・アクション提案ロボ

- ✓ 血液検査Hgbの数値が低い場合のアクション提案
 - ⇒ 『貧血精査をしてください』
- ✓ 血液検査のカリウム(K)の数値が上昇している場合のアクション提案
 - ⇒ 『カリウムが上昇しています。腎機能に注意をしてください』
- ✓ 血糖値が空腹時126又は随時で200の場合のアクション提案
 - ⇒ 『ヘモグロビンA1cをチェックしてください』
- ✓ 睡眠治療におけるCPAP使用状況が芳しくない場合のアクション提案
 - ⇒ 『脱落の可能性あり。定期受診を待たず、事前介入してください』



想定される3つのデジタルレイバー効果 ③収益向上

算定可能な定期文書自動作成とレセプトチェックロボで年間100万円の収益向上に貢献

算定可能な定期文書の自動作成ロボ

- ✓ 訪問診療クリニックでは、診療報酬請求のために、毎月、居宅療養管理計画書等の定期文書を作成しなければならないが、業務負荷が高く、毎月作成できていない。
- ✓ 結果として毎月請求できていない。

- ロボが当月の診療録と前月の定期文書を見て、自動的に下記文書を作成
 - 在宅療養計画書
 - 訪問看護指示書
 - 居宅療養管理指導書
- 毎月の請求が可能となり、収益向上に貢献！

レセプト・チェックロボ

- ✓ 現在、レセプト・チェックを外部業者に任せており請求事務がブラックボックスとなっている。
- ✓ レセプトチェックソフトで点検をかけているが、その精度に懸念がある。

- 診療や検査の直後に、ロボが『病名』や『病名疑い』をチェック
 - 心電図検査:不整脈疑い
 - BNP(血液検査):心不全疑い
 - 尿検査:膀胱炎疑い
- 診療直後にチェックする事で精度向上(=収益向上)に貢献！



クリニックでの RPA活用事例



クリニックでのRPA活用事例

■ 請求書・診療明細書

毎月、各患者への請求書・診療明細書をダウンロードするロボットです。

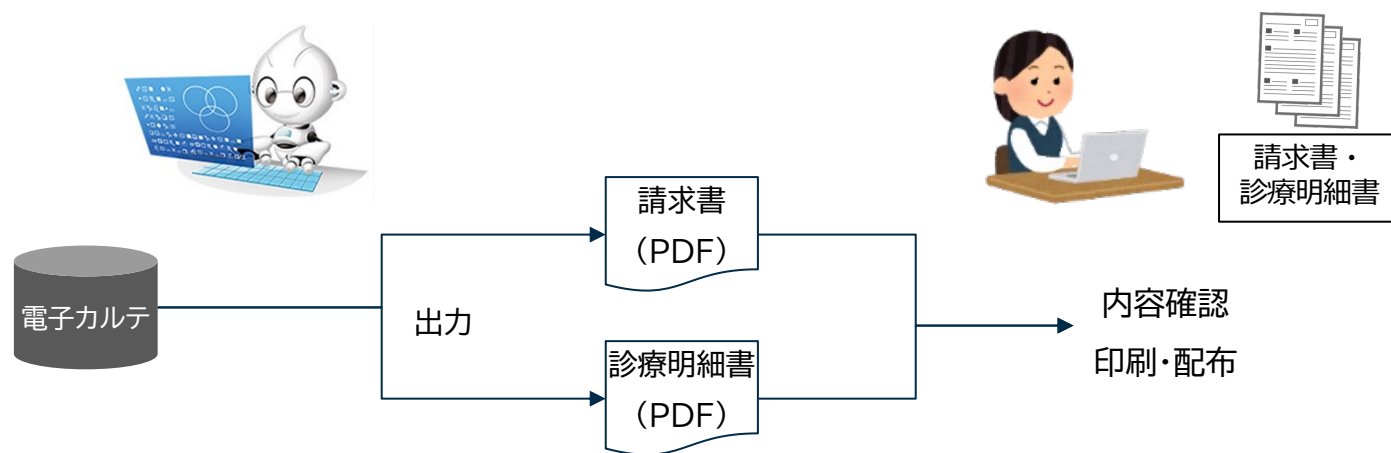
在宅診療クリニック

電子カルテから書類をダウンロード

請求書・診療明細書を印刷・配布

- ロボットが電子カルテから各患者の請求書及び診療明細書をダウンロード

- 担当者がダウンロードされた請求書・診療明細書を確認・印刷し、各患者へ配布



・年間で48時間の余剰時間を創出

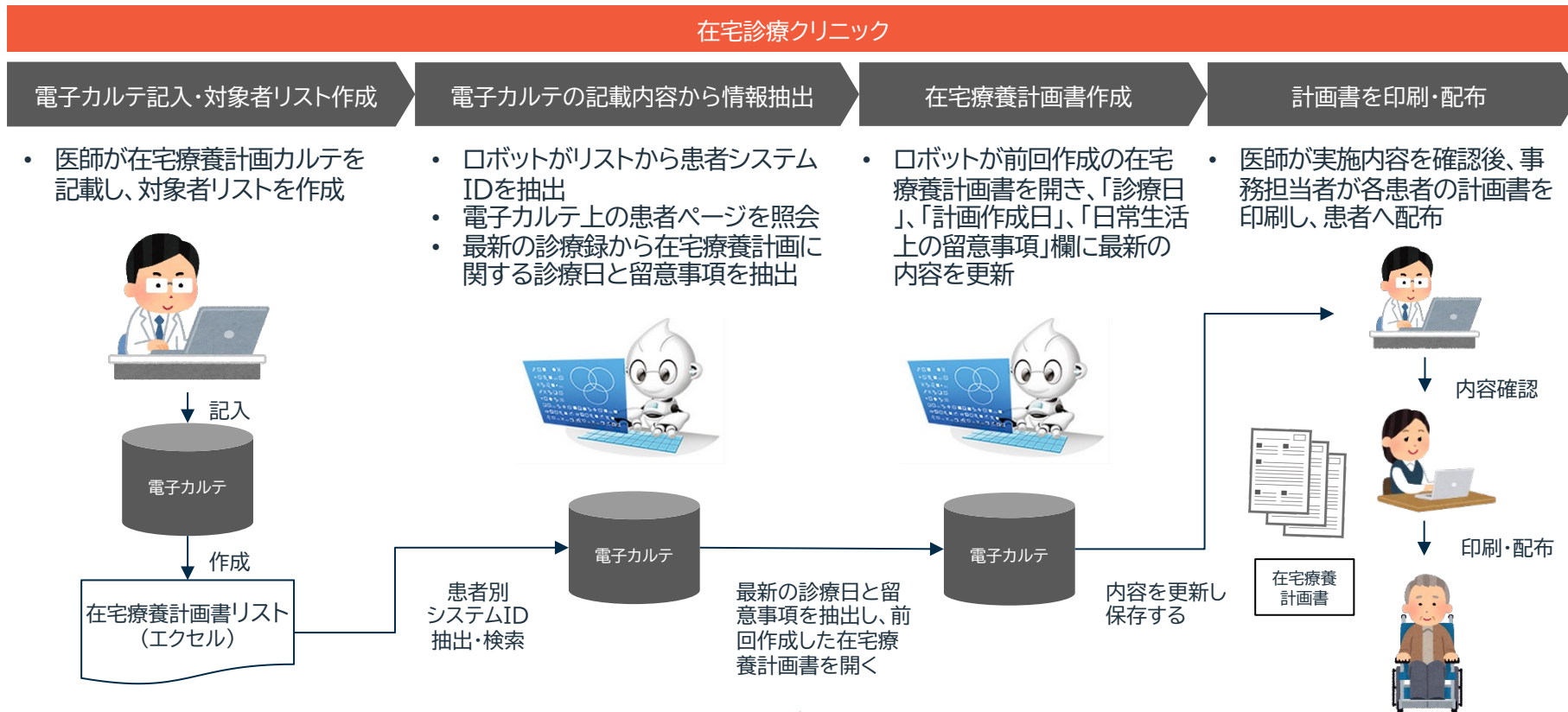


クリニックでのRPA活用事例

■ 在宅療養計画書作成ロボット

在宅療養を行っている患者向けに、訪問や処置に関する計画書を作成するロボットです。

在宅診療クリニック



・年間で96時間の余剰時間を創出



クリニックでのRPA活用事例

■ 訪問看護指示書作成ロボット

訪問看護ステーションの看護師向けに、訪問看護を受ける患者の訪問看護開始予定日と終了予定日、患者の状態、具体的な指示、留意事項等を記述する訪問看護指示書を作成するロボットです。

在宅診療クリニック

電子カルテ記入・対象者リスト作成

- 医師が訪問看護指示カルテを記載し、対象者リストを作成



記入



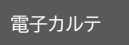
電子カルテ

作成

訪問看護指示書リスト
(エクセル)

電子カルテの記載内容から情報抽出

- ロボットがリストから患者システムIDを抽出
- 電子カルテ上の患者ページを照会
- 最新の診療録から訪問看護指示に関する留意事項、開始日等を抽出



患者別
システムID
抽出・検索

最新の留意事項、開始日、終了日を抽出し、前回作成した訪問看護指示書を開く

訪問看護指示書作成

- ロボットが前回作成の訪問看護指示書を開き、「訪問看護指示期間」の開始日と終了日を入力し、「特記すべき留意事項」欄に最新の内容を更新



内容を更新し
保存する

指示書を印刷・配布

- 医師が実施内容を確認後、事務担当者が各患者の指示書を印刷し、訪問看護ステーションへ配布



内容確認



印刷・配布



訪問看護
計画書



・年間で48時間の余剰時間を創出



RPAユーザーの声 [浅川学園台在宅クリニック]



浅川学園台在宅クリニック(公式サイト:asakawagakuendai.com/)

現場 課題

医師の関与が必須の事務は 休診日に処理

北九州市八幡西区で2018年9月に開業した浅川学園台在宅クリニックは、院長の河野精一郎氏ら7人と、外部の訪問看護ステーション、ケアマネージャーや介護施設などと連携し、同区および近隣に住む患者80人に対する在宅医療を提供。

開業2年目のタイミングでコロナ禍に直面した河野氏は、クリニックが休診する週末に半日間、ワクチン接種に出務することを決めた。しかし土・日はそれ以前から訪問看護指示書の作成など、医師の関与が必須となる事務処理に充てていたことから、特に作業が集中する月末・月初は、本来の業務を圧迫しかねない状況となりつつあった。

導入 効果

医師の事務作業時間を 最大7割超削減

同クリニックで稼働中のロボット3種類のうち、在宅療養計画書と訪問看護指示書の発行関連では、河野氏の手にかかる作業が最大75%削減され、毎月10時間弱を創出。事務員が毎月5時間を充てていた請求書発行作業は、ほぼ完全に自動化された。

個人開業の在宅医療で担う患者数が一般に50人程度とされる中、実に1.5倍以上の患者を受け入れている河野氏は「RPAをはじめとする業務効率化のため」と分析。「特に、毎月80通ある在宅療養計画書の作成では1通8分ほどの作業が2分足らずで済み、月末・月初に時間的・精神的な余裕が生まれました」と笑顔を見せる。

事務処理能力が強化されたことで、河野氏はコロナワクチン接種協力のため休日から半日を充ててもプライベートの時間を確保できるようになった上、今後いっそう積極的に患者を受け入れられるようになったという。

浅川学園台在宅クリニック
BizRobo!導入
インタビュー事例

全文はこちらから

rpa-technologies.com/case/case075/





RPAユーザーの声 [たにあい糖尿病・在宅クリニック]



たにあい糖尿病・在宅クリニック(公式サイト: taniai-diabetes-homecare.jimdofree.com/)

現場 課題

コロナワクチン接種の開始に伴い 事務作業が激増

秋田県南部・由利本荘市の「たにあい糖尿病・在宅クリニック」は、隣のかほ市と合わせた人口10万人のエリアで、在宅医療と、糖尿病内科を中心とした予約制の外来診療を行うクリニックだ。新型コロナウイルス感染拡大と時期が重なり、増大する問い合わせには電話自動応答を、また新たな検査体制づくりには電子契約を活用するなど、DXの積極推進で未曾有の事態に対処し、コロナワクチン接種では地域の全医療機関でトップクラスの実績を上げている。

一方院内では、ワクチン関連の事務処理が多忙を極めた。個別のデジタルツールで局所的に効率化しても、それらをつなぐ転記などの定型作業や、さまざまな個別対応はなお残り、もともと事務担当でないスタッフも分担する状況が続いたことから、谷合氏は新たな方策を探っていた。

導入 効果

最大で 約2時間/日相当の作業を自動化

同クリニックが3業務に導入したソフトウェアロボットが、手作業に代わる自動処理を通じて創出した人的リソースは、業務のピーク時を基準とした合計値で、1日あたりおよそ2時間分に達する。

従来はスタッフが日中の業務時間内に、他業務の合間をみて処理していた作業を、BizRobo!が夜間にまとめて自動処理するようになったことで、スタッフの動きには余裕が生まれ、患者の受け入れなどでより柔軟な対応をしやすくなってきたという。

「個々のロボットに劇的な効果こそないものの、ロボットの数を徐々に増やし、1日数十分相当の効果を積み上げるにつれ、業務全体に良い影響を及ぼすのが実感できました。当日の受診者数も予測しづらい現場で、スタッフが抱える作業をBizRobo!に委ねて余裕を生み、対応の自由度を高められることには、直接的な数字以上の大きな価値があると思います」(谷合氏)

たにあい糖尿病・在宅クリニック
BizRobo!導入
インタビュー事例



全文はこちらから

rpa-technologies.com/case/case070/



導入までの流れ



ユーザー企業

自動化業務
の洗い出し

対象業務の優先順位付
け、トライアルの進行
やスケジュール、サ
ポート等の打ち合わせ

無料トライ
アルで操
作感の確認と
ロボ作成

導入要件を
満たすかの
検証

導入判断

導入の場合は、運用保守、
オンボーディングの打ち
合わせ



弊社

同業種の自
動化事例の
提示

進捗に応じた
伴走サポート、
疎通検証等

不足情報の
提供や効果
検証の支援

複数製品の比較ポイントの整理

比較中製品の比較ポイントの確認 (2~3社がおすすめ)

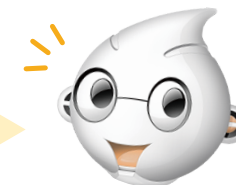


ご相談、お問合せはこちらまで



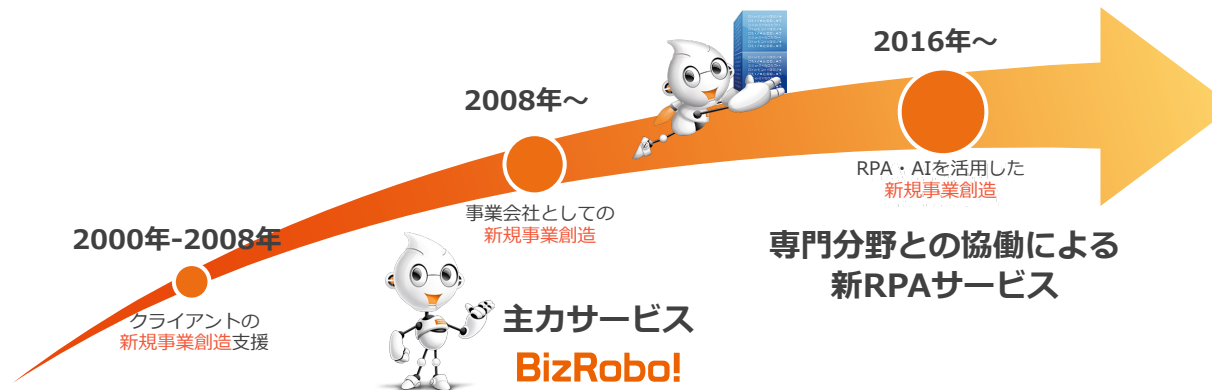
<https://rpa-technologies.com/inquiry/contact>

全国10拠点どこからでもご支援可能！
まずはお気軽にお問合せをください！



OPEN オープン株式会社について

会社名	オープン株式会社
持ち株会社	オープングループ株式会社【東証プライム：6572】
設立	2013年7月
代表者	代表取締役執行役員社長 石井 岳之
所在地	東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー8F
事業内容	スマートロボット（RPA、AI）を活用した情報処理サービス、コンサルタント事業 スマートロボット（RPA、AI）を活用したアウトソーシング事業 スマートロボット（RPA、AI）を活用したデジタルマーケティング、オンライン広告事業



BizRobo!

楽しい時代へ進化する
日本のRPAはBizRobo!から



BizRobo!についての情報はこちら

 <https://rpa-technologies.com>